

受賞者挨拶

この度は、栄誉あるコスモス国際賞の受賞者にお選びいただき、大変嬉しく思っております。有馬委員長をはじめコスモス国際賞委員会の先生方、今井会長をはじめ花博記念協会の役員の方々の寛大な評価に心より感謝いたします。在日ベトナム大使のグエン・フー・ビン閣下、来賓の皆様方、本日はご列席ありがとうございます。

2008年コスモス国際賞をお受けすることになり、光栄なことで喜びに堪えません。この名誉は私一人のものではなく、祖国の皆さま並びに環境科学界全体のものでもあります。

長年にわたって私を支え、励まし、研究の進むべき方向を示して下さったベトナム内外の友人、同僚、さらにはベトナム沿岸部の住民および政府関係者に、この機会をお借りして、心より感謝を申し上げたいと思います。

研究は大変でしたが刺激に満ちたものであり、ベトナムのマングローブの生態系には大なる実用的価値があることを、私は同僚と共に発見しました。ベトナムのマングローブの生態系は公害や自然災害から沿岸部を守り、水産資源を貯え育み、貧しい人々の生活を支えています。この研究のおかげで、多くの地域住民を啓発することができましたし、貴重な沈水植物資源の保護育成に対する意識を高めることもできました。このような取り組みは森林破壊の問題を軽減する一方、多くの地域で防災林としてのマングローブの植栽活動を広めるのにも役立っています。経験に基づく私たちの研究によって、マングローブの生態系に関する研究成果の蓄積に新たなデータが加えられることにもなりました。

私は自らの研究成果を生かして、私の勤める大学の教育課程に一定の改革を導入し、多くの研究者の指導に当たってきました。今ではそうした研究者も高い能力と経験を備えるまでになっており、ベトナム各地でさまざまな大学の研究者として、また地方公共団体の職員として活躍しています。

戦争中あるいは祖国再統一後の厳しい経済状況のもと、私は非常に困難な研究の日々を過ごしましたが、そのおかげで科学的研究の新たな高みに至るために必要な粘り強さを身につけることができました。また、沿岸地域が抱える各種の問題や貧困の緩和、環境改善に微力ながら貢献したいという思いをいつも抱いています。

今回、コスモス国際賞をいただくことになったということは、マングローブの生態系の研究およびマングローブの生態系と沿岸部諸地域との相互関係の研究に生涯を通じて専念してきたことが認められたということで、大変名誉なことでもあります。

けれどもそれだけにとどまりません。副賞賞金のおかげで自分の夢を実現することもできるのです。私は以前からマングローブの研究に携わるベトナムの学生や科学者のために奨学基金を設立して、ベトナムにおけるマングローブ関連の研究をさらに推し進めたいと考えていました。このように夢が実現することによって、この栄誉ある賞が絶えることのない大きな利益を科学界にも祖国の沿岸地域にも、もたらしてくれると確信しています。

繰り返しになりますが、私にこの大変な栄誉を与えてくださったコスモス国際賞委員会に心から感謝申し上げたいと思います。また、このような大きな賞を授けくださり、この美しい国で温かく歓迎してくださいました国際花と緑の博覧会記念協会と日本の皆さまに対し、改めて感謝申し上げます。

さらに、皇太子殿下よりご招待を賜りましたこと、感謝の念にたえません。私も家族も東京での記念すべき拝謁を楽しみにしております。最後に、本日この授賞式にご参加のベトナム大使グエン・フー・ビン閣下に感謝申し上げます。

そして大切なことをもう一つ、今までずっと私を支え続けてくれた妻ゴー・キム・ツーと二人の子供たちに心から感謝を捧げたいと思います。

ファン・グエン・ホン